

後から解析も簡単! ラズベリー・パイで作るパケット・ロガー

坂井 弘亮

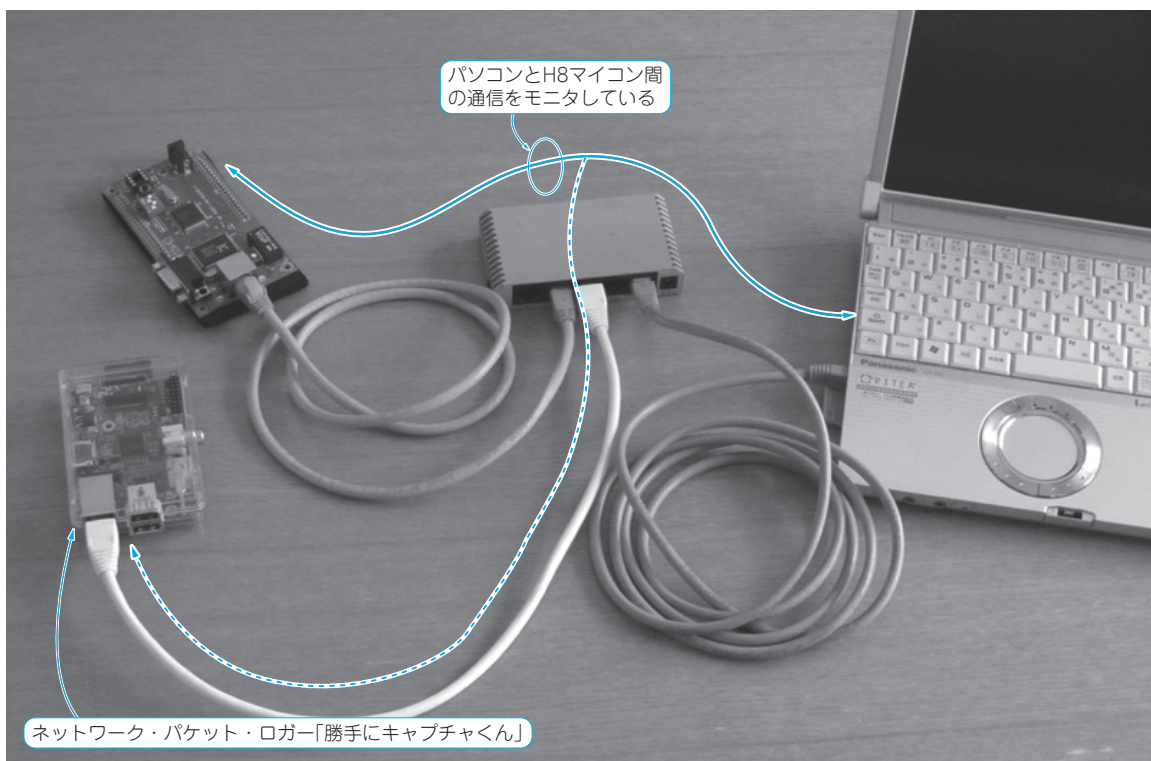


写真1 パソコン-マイコン間のネットワーク・パケットを取り込んで保存できる!

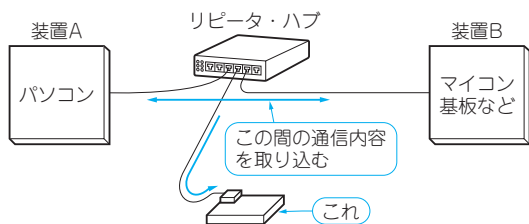


図1 製作したラズベリー・パイ ネットワーク・パケット・ロガー「勝手にパケット・キャプチャくん」を使ってデータを取り込んでおくことで自宅のLAN解析が手軽にできる

本稿で紹介するネットワーク・パケット・ロガーは、装置Aと装置Bの間でやりとりされるデータ・パケットを、ラズベリー・パイに記録し続けます(図1, 写真1)。

記録データは、プロ御用達のネットワーク・パケット・アナライザWiresharkで図2のように開くことができます。どの時間にどのようなプロトコルがやりとりされたかを、じっくり解析できます。

第2章で作成した簡易パケット・キャプチャを、ラズベリー・パイ上で動作させることで、かばんに入れて持ち歩ける、自動キャプチャ装置を実現しています。出張先でのネットワーク解析に役立つところがあるかもしれません。機能を表1に示します。

● 準備

▶ラズベリー・パイを動く状態にする

まずはラズベリー・パイ上で、筆者が製作した簡易パケット・キャプチャを動作させてみましょう。